

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC48)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年12月21日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (11.0)	12/19	0	5.5	32.42	0	0	60	0
		5	5.5	32.42	0	0	20	0
		10	5.5	32.43	0	10	0	0
		15	5.5	32.43	0	0	30	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータなどが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC47)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年12月14日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (5.0)	12/11	0	4.6	32.66	0	0	0	0
		5	6.1	33.14	0	0	0	0
		10	6.2	33.17	0	0	20	0
		13	6.2	33.17	0	0	10	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコノラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC46)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年12月6日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
サロマ湖 (8.0)	12/3	0	5.4	32.48	0	10	0	0	
		3	5.4	32.50	0	0	0	0	
		6	5.4	32.50	0	0	20	0	
		9	5.4	32.51	0	0	10	0	
		12	5.3	32.52	0	0	20	0	
		15	5.4	32.60	0	0	0	0	

*At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

12月上旬のサロマ湖海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・フォルティとアキュミナータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC45)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年11月29日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	Dru	
標津	11/28	0			0	0	20	0	
		5			0	0	10	10	
		10			0	0	30	0	
		15			0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータなどが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YG44)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年11月20日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (11.0)	11/13	0	14.0	32.71	0	0	0	10	Dru
		10	14.8	33.30	0	0	10	10	Dru
		20	15.1	33.51	0	0	30	0	
		30	15.5	33.73	0	0	0	0	
能取湖 (5.5)	11/16	0	10.7	33.48	0	50	70	0	
		10	10.7	33.48	0	20	60	0	

*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

11月の石狩湾(浜益)と能取湖海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・フォルティ、アキュミナータなどが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC43)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年11月12日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
江差 (12.0)	11/2	0	17.1	33.83	0	0	0	0	0
		10	17.1	33.86	0	0	0	0	0
		20	17.1	33.86	0	0	0	0	0
		30	17.1	33.87	0	0	0	0	0
猿払 -	11/6	0	15.1	33.60	0	0	0	0	0
		10	15.2	33.76	0	0	0	0	0
		15	15.2	33.76	0	0	0	0	0
		20	15.2	33.76	0	0	0	0	0
常呂 (14.0)	11/6	0	14.7	33.99	0	0	0	0	0
		10	14.6	34.01	0	0	0	0	0
		20	14.3	33.97	0	0	0	0	0
		30	14.3	33.97	0	0	0	0	0
サロマ湖 (6.0)	11/6	0	12.4	33.39	0	0	0	0	0
		3	12.4	33.47	0	0	0	0	0
		6	12.4	33.47	0	0	0	0	0
		9	12.4	33.47	0	0	10	10	Di
		12	12.4	33.48	0	0	0	0	0
		15	12.5	33.52	0	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

11月上旬の日本海南部(江差)、宗谷北部(猿払)、網走中部(常呂)海域およびサロマ湖海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはサロマ湖でデイノフィシス・アキュミナータとインファンディブラがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC42)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年11月8日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
標津	10/31	0			0	0	10	0	
		5			0	0	10	0	
		10			0	10	0	0	
		15			0	0	0	0	
厚岸 (4.5)	11/5	0	11.4	32.34	0	0	200	90	Di90
		5	11.8	32.77	0	0	240	70	Di60, Dm10
		10	11.8	33.26	0	0	20	10	Di10
		13	11.7	33.28	0	0	50	30	Di30

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンタータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、厚岸でデイノフィシス・アキュミナータとインファンディブラが多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC41)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年10月30日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
能取湖 (3.0)	10/26	0	14.2	33.43	0	150	130	60	Di50、Dm10 Dm20
		10	14.2	33.48	0	40	50	20	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

10月下旬の能取湖海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・フォルティ、アキュミナータなどが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC40)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年10月26日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 (11.0)	10/23	0	16.2	33.98	0	0	0	0	
		10	16.1	34.00	0	0	0	0	
		20	15.6	34.03	0	0	0	10	Dru
		30	15.2	34.01	0	0	0	0	
サロマ湖 (4.0)	10/23	0	14.8	33.26	0	0	50	10	Di
		3	14.6	33.26	0	10	30	10	Di
		6	14.6	33.27	0	0	60	30	Di
		9	14.6	33.27	0	0	50	40	Di
		12	14.6	33.27	0	0	10	20	Di
		15	14.6	33.27	0	0	10	10	Di

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

10月下旬の網走中部(常呂)海域とサロマ湖海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはサロマ湖でデイノフィシス・アキュミナータとインファンディブラが主に出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC39)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年10月19日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
浜益 (5.0)	10/12	0	17.7	31.15	0	0	10	0
		10	18.6	33.53	0	0	0	0
		20	18.7	33.61	0	0	0	0
		30	18.9	33.72	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

10月の石狩湾(浜益)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現しておりません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・アキュミナータが出現しております。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC38)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2018年10月16日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (20.0)	10/10	0	20.4	33.76	0	0	0	10	Dm
		10	20.5	33.81	0	0	0	0	
		20	20.5	33.80	0	0	0	0	
		30	20.4	33.82	0	0	0	10	
猿払 (-)	10/9	0	17.2	33.73	0	0	0	0	
		10	17.2	33.73	0	0	0	0	
		15	17.2	33.71	0	0	0	0	
		20	17.2	33.69	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

10月上旬の日本海南部(江差)および宗谷北部(猿払)海域では麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、江差でデイノフィシス・ミトラがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC37)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年10月12日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
厚岸 (3.0)	10/5	0	15.4	31.57	0	0	80	0	
		5	14.9	32.52	0	0	60	10	Dru10
		10	14.5	33.03	0	10	30	0	
		13	14.5	33.05	0	0	10	10	Di10

*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

10月の太平洋東部海峡(厚岸)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・アキュミナータがやや多く出現しております。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC36)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年9月28日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
浜益 (10.5)	9/20	0	20.5	33.33	0	0	0	0	
		10	20.5	33.42	0	0	0	0	
		20	20.8	33.86	0	0	10	10	Dro
		30	20.7	33.86	0	0	0	10	Dro
標津	9/26	0			0	20	40	130	Dru100, Dm30
		5			0	10	50	70	Dru60, Dm10
		10			0	30	10	30	Dru20, Di10
		15			0	10	20	20	Dru10, Di10
常呂 (10.0)	9/25	0	18.9	33.90	0	0	0	10	Dm10
		10	18.9	33.90	0	0	0	10	Dm10
		20	18.7	33.92	0	0	0	10	Dm10
		30	18.3	33.93	0	0	0	10	Dru10
サロマ湖 (7.5)	9/25	0	18.2	33.41	0	10	20	10	Dro10
		3	18.1	33.42	Aa20	10	10	10	Di10
		6	18.2	33.42	20	10	10	0	
		9	18.2	33.43	20	10	10	0	
		12	17.8	33.41	0	30	20	10	Dro10
		15	16.8	33.39	0	0	10	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

9月下旬のサロマ湖海域で麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは標津でデイノフィシス・ルジエイがやや多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC35)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年9月20日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 -	9/11	0	19.6	33.33	0	0	0	0	Dm
		10	19.3	33.34	0	0	0	0	
		15	18.6	33.47	0	0	0	10	
		20	18.4	33.47	0	0	0	0	
増毛 (22.0)	9/13	0	21.2	34.00	0	0	0	0	
		10	21.2	34.00	0	0	0	0	
		20	21.0	33.98	0	0	0	0	
		30	20.7	33.90	0	0	0	0	
江差 (17.0)	9/13	0	22.1	33.75	0	0	0	0	
		10	22.1	33.73	0	0	0	0	
		20	22.1	33.86	0	0	0	0	
		30	21.7	33.96	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは標津でデイノフィシス・ミトラがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC34)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年9月12日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
能取湖 (4.0)	9/10	0	18.9	33.05	0	20	30	80	Dru70, Di10
		10	16.9	33.44	0	100	20	130	Dru10, Di120
厚岸 (2.0)	9/10	0	17.2	30.55	0	10	590	130	Di130
		5	15.2	32.54	0	0	430	50	Di50
		10	12.6	32.85	20	10	370	30	Di30
		12	12.2	32.93	0	10	80	10	Di10

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

9月の太平洋東部海峡(厚岸)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは能取湖でデイノフィシス・フォルティとインファンディブラが、厚岸でデイノフィシス・アキュミナータとインファンディブラが多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC33)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年9月10日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
標津 (7.0)	8/31	0	16.6	32.40	0	30	70	20	Di20
		5	16.5	32.61	0	10	80	30	Di10, Dro20
		10	16.1	32.81	0	10	10	0	
		15	15.5	33.06	10	20	10	10	Dru10
網走 (10.0)	8/31	0	17.0	33.60	0	0	0	20	Dru10, Dm10
		10	16.4	33.66	10	0	0	30	Dro20, Dm10
		20	14.1	33.80	0	0	0	0	
		30	14.1	33.78	0	0	0	10	Dro10

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

8月下旬の根室海峡(標津)海域と網走南部(網走)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは標津でディノフィシス・フォルティとアキュミナータがやや多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC32)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年8月30日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
紋別 (7.0)	8/20	0	18.2	33.38	0	0	0	40	Dro
		15	17.5	33.77	0	0	0	10	Dro
		25	17.4	33.78	0	0	10	10	Dro
		38.1	17.3	33.64	0	10	0	10	Dro
江差 (22.0)	8/20	0	21.3	34.16	0	0	0	0	
		10	21.0	34.15	0	0	0	0	
		20	20.0	34.06	0	0	0	0	
		30	19.0	34.12	0	0	0	0	
浜益 (4.0)	8/22	0	21.2	29.58	0	0	10	60	Dro50, Dm10
		10	20.9	32.30	0	0	0	30	Dro10, Dm20
		20	20.3	33.25	0	0	0	20	Dro20
		30	15.7	33.99	0	0	0	30	Dro30
厚岸 (3.0)	8/27	0	15.2	32.09	0	270	700	20	Dru10, Di10
		5	14.0	32.45	0	290	1010	100	Dn50, Dru10, Di40
		10	13.2	32.68	10	10	180	30	Di30
		12	13.0	32.74	0	0	70	10	Di10
頓別 -	8/24	0	17.6	33.73	0	10	0	20	Dro10, Dm10
		10	17.4	33.77	0	0	0	0	
		20	17.1	33.78	0	0	0	0	
		30	17.0	33.78	0	0	0	0	
常呂 (6.0)	8/28	0	17.1	33.18	0	0	0	10	Dm10
		10	17.1	33.80	0	10	0	40	Dro20, Dru20
		20	16.7	33.83	0	0	0	20	Dro20
		30	16.6	33.84	0	0	0	0	
サロマ湖 (4.0)	8/28	0	18.0	32.16	0	0	10	10	Dro10
		3	17.9	32.27	0	0	10	20	Dro10, Dru10
		6	17.9	32.42	0	10	0	10	Dru10
		9	17.4	32.81	0	0	0	20	Di20
		12	17.5	33.02	0	10	0	0	
		15	16.9	33.01	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月下旬の太平洋東部(厚岸)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは厚岸でデイノフィシス・フォルティとアキュミナータが多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC31)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年8月24日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
能取湖 (3.6)	8/21	0	20.8	31.93	0	10	10	10	Dro
		10	17.2	33.06	10	40	10	70	Dro60, Di10

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月下旬の能取湖海域で麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しました。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・フォルティ、ロツンダータなどが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC30)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年8月15日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (13.0)	8/9	0	21.7	33.65	0	0	0	20	Dro
		10	18.1	33.92	0	0	0	0	
		20	16.4	33.82	0	0	0	10	Dro
		30	13.8	34.01	0	0	0	10	Dro
猿払 (-)	8/7	0	18.4	33.29	0	0	0	0	
		10	16.8	33.46	0	0	0	0	
		15	16.8	33.45	0	0	0	0	
		20	16.7	33.45	0	10	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 フロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月上旬の日本海北部(増毛)および宗谷北部(猿払)海域では麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・フォルティなどが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC29)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年8月7日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
厚岸 (4.0)	8/6	0	15.6	31.61	20	50	980	10	Dro
		5	14.5	31.61	60	350	1,010	30	Dn
		10	11.6	32.29	10	240	420	70	Dn
		13	10.2	32.28	0	20	350	30	Dn

*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月上旬の太平洋東部(厚岸)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しました。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・フォルティとアキュミナータが主に出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC28)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年8月1日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
浜益 (5.5)	7/24	0	19.4	32.15	0	0	0	0	Dro
		10	17.2	33.45	0	0	0	10	
		20	15.9	33.71	0	0	0	0	
		30	15.8	33.71	0	0	0	0	
猿払 —	7/24	0	14.7	33.48	0	0	0	0	Dro
		10	14.7	33.50	0	30	0	0	
		15	14.7	33.50	0	50	0	10	
		20	14.6	33.52	0	40	0	0	
標津 —	7/30	0	—	—	10	10	0	10	Dru
		5	—	—	0	0	20	0	
		10	—	—	10	10	0	10	Dru
		15	—	—	10	20	30	0	
能取湖 —	7/30	0	21.5	32.53	0	20	20	0	
		10	14.9	33.09	30	480	110	0	
江差 (10.0)	7/25	0	21.3	33.47	0	0	0	0	Dru
		10	20.4	33.58	0	0	0	0	
		20	18.5	33.87	0	0	0	10	
		30	15.0	34.26	0	0	0	0	
増毛 (7.0)	7/26	0	20.5	31.85	0	0	0	0	
		10	16.0	33.74	0	0	0	0	
		20	14.9	33.91	0	10	0	0	
		30	14.1	33.99	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月下旬の根室海峡(標津)海域と能取湖海域で麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは能取湖でデイノフィシス・フォルティ、アキュミナータが多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC27)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年7月26日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
常呂 (12.0)	7/24	0	14.6	33.64	20	10	0	0	Dro
		10	14.3	33.70	0	0	0	0	
		20	14.2	33.69	0	20	0	10	
		30	14.0	33.73	0	20	0	0	
サロマ湖 (2.5)	7/24	0	18.5	30.96	0	0	0	0	Dn
		3	16.7	31.85	0	0	10	0	
		6	14.3	32.56	10	60	10	10	
		9	13.1	32.95	0	60	10	0	
		12	12.5	32.99	0	0	10	0	
厚岸 (4.5)	7/24	0	15.0	30.08	970	0	110	0	Dn10, Dru10, Di10 Dn Dn
		5	10.8	31.98	190	50	1910	30	
		10	9.5	32.03	20	190	1900	120	
		13	9.0	32.30	30	30	710	30	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月下旬の太平洋東部(厚岸)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtが970細胞/L出現しました。

毒性値の推移にご注意下さい。

網走中部(常呂)およびサロマ湖海域でもわずかに出現しています。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・フォルティ、アキュミナータおよびノルヴェジカが主に出現しています。

特に厚岸ではアキュミナータが非常に多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC26)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年7月20日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
紋別 (8.0)	7/18	0	11.5	33.95	30	10	10	0	
		10	10.8	33.93	0	80	40	0	
		20	10.6	33.97	0	70	30	0	
		30	10.6	33.96	0	30	0	0	
能取湖 (5.0)	7/18	0	16.5	31.57	20	50	160	20	Di
		10	12.7	32.88	0	110	40	40	Di30, Dn10

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月中旬の網走北部(紋別)海域と能取湖海域で麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは主にデイノフィシス・フォルティとアキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC25)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年7月20日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
頓別	7/11	0	11.5	33.95	20	0	10	0
(-)		10	10.8	33.93	10	0	0	0
		20	10.6	33.97	0	0	0	0
		30	10.6	33.96	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月中旬の宗谷南部(頓別)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtが最高20細胞/L出現しました。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC24)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2018年7月18日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
網走 (10.0)	7/17	0	11.7	32.61	50	0	0	0
		10	11.1	33.54	50	20	0	0
		20	9.9	33.75	0	50	0	0
		30	9.8	33.76	10	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月の網走南部(網走)海域で

麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・フォルティが出現しております。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC23)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年7月13日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
厚岸 (4.0)	7/10	0	12.7	28.17	0	0	40	0	
		5	10.1	31.57	0	0	2460	290	Dn
		10	8.8	32.12	0	0	590	20	Dn
		12	8.6	32.16	0	0	150	0	
増毛 (4.0)	7/9	0	17.7	28.01	0	0	0	10	Dro
		10	14.4	33.94	0	0	0	0	
		20	13.9	33.98	0	130	0	0	
		30	12.3	33.83	0	70	10	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月の太平洋東部(厚岸)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは厚岸でデイノフィシス・アキュミナータとノルヴェジカが増毛でフォルティが多く出現しております。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC22)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年7月13日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	Dn 細胞/L	
厚岸 (4.0)	7/10	0	12.7	28.17	0	0	40	0	
		5	10.1	31.57	0	0	2460	290	Dn
		10	8.8	32.12	0	0	590	20	Dn
		12	8.6	32.16	0	0	150	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月の太平洋東部(厚岸)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現しておりません。

下痢性貝毒プランクトンは厚岸でデイノフィシス・アキュミナータが非常に多くノルウェジカが多く出現しております。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC21)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年7月9日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (14.0)	6/29	0	14.9	33.23	0	0	0	10	Dro
		10	13.7	33.69	0	20	20	0	
		20	12.3	33.86	0	80	40	0	
		30	11.4	33.94	0	50	0	10	Di
猿払 -	7/3	0	12.8	32.88	0	60	0	0	
		10	12.7	33.56	0	50	0	0	
		15	12.7	33.57	0	40	0	10	Di
		20	12.5	33.63	0	30	10	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

6月下旬の日本海北部(増毛)海域と7月上旬の宗谷北部(猿払)海域で
 麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・フォルティとアキュミナータが主に出現しております。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC20)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年7月4日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払	6/26	0	12.4	33.59	0	0	0	0
-		10	11.9	33.67	0	0	0	0
		15	11.7	33.71	0	0	0	0
		20	11.7	33.72	0	10	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンタータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

6月下旬の宗谷北部(猿払)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現しておりません。

下痢性貝毒プランクトンはディノフィシス・フォルティがわずかに出現しております。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC19)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年6月29日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 —	6/26	—	—	—	0	0	110	0	
		—	—	—	0	0	50	0	
		—	—	—	0	0	50	10	Dn10
		—	—	—	0	0	100	10	Dn10
常呂 (7.0)	6/26	0	10.5	32.89	90	0	10	10	Dru10
		10	10.1	33.05	60	0	10	20	Dn10, Dru10
		20	9.4	33.70	20	0	30	20	Dn10, Dru10
		30	9.3	33.72	0	0	20	0	
サロマ湖 (5.8)	6/26	0	14.4	32.43	0	0	20	0	
		3	13.8	32.46	0	10	10	0	
		6	13.1	32.57	10	10	50	10	Di
		9	12.8	32.61	0	10	10	0	
		12	11.6	32.90	0	0	10	0	
		15	10.0	33.26	0	0	20	0	

*At = Alexandrium tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサン德里ウム・アフネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da = Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダーター, Di = Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn = Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

6月下旬の網走中部(常呂)海域とサロマ湖海域で

麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しました。

網走中部(常呂)海域では麻痺性貝毒の毒性値の推移にご注意下さい。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・アキュミナータが多く出現しております。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC18)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年6月26日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
紋別 (5.5)	6/18	0	10.6	33.22	0	0	10	0	Dru
		15	9.0	33.38	0	0	50	0	
		25	7.9	33.76	0	0	0	10	
		37.9	7.0	33.70	0	0	0	0	
江差 (18.0)	6/18	0	15.3	33.96	0	0	0	0	
		10	13.6	34.15	0	0	0	0	
		20	12.6	34.18	0	0	0	0	
		30	11.8	34.13	0	0	0	0	
増毛 (15.0)	6/18	0	13.3	33.69	0	0	0	0	
		10	11.8	33.67	0	10	0	0	
		20	9.9	34.05	0	20	0	0	
		30	9.3	33.99	0	70	0	0	
能取湖 (4.2)	6/25	0	14.6	32.68	0	50	50	0	Di
		10	11.9	33.06	0	20	40	10	
網走 (7.0)	6/25	0	8.6	33.04	0	0	20	20	Dru
		10	8.5	33.20	0	10	20	10	Dru
		20	9.5	33.53	0	0	0	0	
		30	8.9	33.67	0	0	0	0	
厚岸 (7.0)	6/25	0	11.1	31.04	0	20	470	70	Dn
		5	7.4	32.46	0	0	140	100	Dn
		10	6.0	32.60	0	0	30	30	Dn
		13	5.4	32.68	0	0	10	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

6月の網走北部(紋別)、日本海南部(江差)、日本海北部(増毛)、能取湖、網走南部(網走)および太平洋東部(厚岸)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現しておりません。

下痢性貝毒プランクトンは厚岸でデイノフィシス・アキュミナータとノルウェジカが多く出現しております。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC17)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年6月22日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
頓別	6/11	0	11.6	33.80	0	0	0	0
-		10	11.1	33.83	0	0	0	0
		20	10.7	33.92	0	0	0	0
		30	10.6	33.94	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

6月の宗谷南部海域(頓別)で
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC16)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年6月15日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
猿払 -	6/5	0	11.5	33.46	0	0	0	0	
		10	11.4	33.50	0	0	0	0	
		15	11.1	33.63	0	10	0	0	
		20	11.1	33.65	0	10	0	0	
浜益 (7.0)	6/8	0	15.7	31.89	0	0	10	0	
		10	12.2	33.86	0	20	0	10	Di
		20	10.7	33.89	0	40	30	0	
		30	10.2	33.89	0	0	10	0	
能取湖 (3.7)	6/13	0	12.6	32.64	0	0	0	0	
		10	12.3	32.75	0	10	10	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

6月の宗谷北部(猿払)、石狩湾(浜益)および能取湖海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtがわずかに出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは主にデイノフィシス・フォルティやアキュミナータなどが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC15)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年6月7日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
網走	6/4	0	8.5	32.64	0	0	10	0	
		10	8.0	33.60	0	0	0	0	
		20	8.6	33.90	0	0	0	0	
		30	8.5	33.91	0	0	0	0	
増毛 -	5/30	0	14.4	31.89	0	0	0	0	
		10	11.6	33.14	0	10	0	0	
		20	9.6	33.84	0	0	10	0	
		30	8.6	33.96	0	0	0	0	
厚岸 (4.0)	6/4	0	12.1	31.37	10	0	0	0	
		5	7.8	32.09	0	0	110	420	
		10	5.8	32.35	0	0	0	50	
		13	5.4	32.38	0	0	0	0	
常呂 (9.0)	6/5	0	12.4	33.36	0	20	0	0	
		10	10.6	33.53	0	10	0	0	
		20	10.2	33.62	0	0	0	0	
		30	10.2	33.64	0	0	0	0	
サロマ湖 (8.9)	6/5	0	15.3	32.95	0	0	0	0	
		3	14.1	32.33	0	0	0	0	
		6	11.3	32.73	0	0	0	0	
		9	11.2	33.03	0	10	0	0	
		12	10.4	33.02	10	0	10	0	
		15	9.7	33.08	0	0	10	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

6月上旬の太平洋東部海域(厚岸)とサロマ湖海域で麻痺性貝毒プランクトンAtがわずかに出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは、主にデイノフィシス・アキュミナータとノルウェジカが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC14)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年5月30日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 -	5/25	0	-	-	10	0	20	0	Dn
		5	-	-	0	0	10	0	
		10	-	-	0	0	40	10	
		15	-	-	0	0	40	0	
猿払 -	5/22	0	7.3	33.93	0	0	0	0	
		10	7.3	33.95	0	0	10	0	
		15	7.3	33.96	0	0	0	0	
		20	7.3	33.96	0	0	0	0	
能取湖 (7.8)	5/28	0	12.9	-	0	0	0	0	
		10	10.0	-	0	0	0	0	
江差 (9.0)	5/24	0	12.8	34.10	0	0	0	0	
		10	11.8	34.23	0	0	0	0	
		20	10.6	34.37	0	10	0	0	
		30	9.8	34.43	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

5月の根室海峡(標津)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtがわずかに出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは主にデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC13)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年5月25日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 (8.0)	5/21	0	9.0	33.26	0	0	10	0	
		10	8.1	33.30	0	0	0	0	
		20	8.0	33.48	0	0	10	0	
		30	7.7	33.53	0	0	10	0	
サロマ湖 (9.0)	5/21	0	10.1	31.82	0	0	10	0	
		3	10.1	31.83	0	0	0	0	
		6	9.0	32.55	0	0	0	0	
		9	8.7	32.78	10	0	10	0	
		12	8.3	32.85	0	0	10	0	
		15	7.5	32.89	0	0	0	0	
厚岸 (3.0)	5/1	0	10.0	31.43	0	0	0	0	
		5	6.7	31.88	0	0	0	20	Dn
		10	5.5	32.25	0	0	0	10	Dn
		13	5.1	32.33	10	0	10	0	

*At = Alexandrium tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサン德里ウム・アフイネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da = Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンタータ, Di = Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn = Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

5月下旬のサロマ湖と太平洋東部海域(厚岸)で麻痺性貝毒プランクトンAtがわずかに出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータとノルウェジカが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC12)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年5月22日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
浜益 (9.5)	5/15	0	12.0	31.82	0	0	0	0
		10	10.3	33.17	0	0	0	0
		20	8.2	33.95	0	0	0	0
		30	8.4	34.04	0	0	0	0
頓別 -	5/11	0	6.7	33.84	0	0	10	0
		10	6.7	33.79	0	0	10	0
		20	6.7	33.85	0	0	20	0
		30	6.7	33.84	0	0	10	0
紋別 (6.5)	5/15	0	7.2	33.58	0	0	30	0
		15	7.0	33.79	0	0	20	0
		25	7.0	33.81	0	0	20	0
		36.9	6.5	33.81	0	0	10	0
増毛 (11.0)	5/16	0	11.3	32.33	0	10	0	0
		10	10.0	33.17	0	0	0	0
		20	9.5	33.67	0	0	0	0
		30	8.4	33.81	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロコニオラックス・タマレンシス
 Aa = *Alexandrium affine*アレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)
 Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

5月中の石狩湾、宗谷南部、網走北部および日本海北部海域では麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、主にデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC11)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年5月17日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 -	5/11	0	-	-	0	0	30	0
		5	-	-	0	0	10	0
		10	-	-	0	0	0	0
		15	-	-	0	0	0	0
能取湖 (7.0)	5/14	0	11.8	31.55	0	0	0	0
		10	7.6	32.78	0	0	20	0
猿払 -	5/9	0	7.2	33.71	0	0	0	0
		10	7.2	33.70	0	0	0	0
		15	6.9	33.80	0	0	20	0
		20	6.8	33.83	0	0	20	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

5月の根室海峡(標津)海域、能取湖海域および宗谷北部(猿払)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC10)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年5月10日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
常呂 (4.0)	5/7	0	7.7	32.57	0	0	10	0
		10	7.6	33.16	0	0	0	0
		20	7.1	33.45	0	0	10	0
		30	7.1	33.46	0	0	0	0
サロマ湖 (3.0)	5/7	0	8.0	30.71	0	0	10	0
		3	8.1	30.89	0	0	0	0
		6	7.9	32.49	0	0	0	0
		9	7.6	32.72	0	0	10	0
		12	7.4	32.87	0	0	0	0
		15	7.2	33.07	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンタータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

5月上旬の網走中部(常呂)・サロマ湖
 では、麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC9)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年5月7日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 -	4/24	0	6.0	33.74	0	0	40	0
		10	6.1	33.79	0	0	10	0
		15	6.1	33.79	0	0	30	0
		20	6.1	33.79	0	0	10	0
厚岸 (2.0)	5/1	0	7.8	30.98	0	0	0	0
		5	6.0	31.75	0	0	0	0
		10	3.9	32.17	0	0	0	0
		12	3.3	32.21	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

5月の宗谷北部(猿払)および太平洋東部(厚岸)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは猿払でデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC8)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年4月26日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
江差 (7.0)	4/18	0	7.9	32.41	0	0	10	0	
		10	7.5	34.04	0	0	180	0	
		20	7.3	34.06	0	0	40	0	
		30	7.2	34.08	0	0	40	0	
浜益 (8.0)	4/16	0	7.2	30.49	0	0	20	0	
		10	7.0	34.11	0	0	30	20	Di,Dro
		20	7.0	34.11	0	10	70	0	
		30	7.0	34.10	0	0	60	0	
増毛 (10.0)	4/18	0	7.1	33.35	0	0	20	0	
		10	6.9	33.41	0	0	140	40	Di30,Dro10
		20	6.8	33.81	0	10	120	0	
		30	6.7	34.03	0	0	50	0	
紋別 (3.0)	4/17	0	5.1	32.99	0	0	50	0	
		5	5.0	33.52	0	0	50	10	Di
		10	4.9	33.53	0	0	80	10	Di
		12	4.9	33.53	0	0	120	0	
常呂 (3.0)	4/23	0	6.4	31.73	0	0	0	0	
		10	5.0	33.43	0	0	30	0	
		20	5.4	33.42	0	0	20	0	
		30	5.4	33.42	0	0	20	0	
サロマ湖 (6.5)	4/23	0	7.4	30.82	0	0	20	0	
		3	7.3	30.87	0	0	50	0	
		6	5.0	31.85	0	0	10	0	
		9	4.7	32.38	0	0	0	0	
		12	5.2	32.44	0	0	0	0	
		15	3.7	32.46	0	0	0	0	
能取湖 (6.8)	4/25	0	7.8	31.90	0	0	20	0	
		10	5.7	32.51	0	0	10	0	
網走 (4.0)	4/23	0	4.3	32.42	0	0	10	0	
		10	4.0	33.41	0	0	40	0	
		20	5.1	33.69	0	0	50	0	
		30	5.1	33.71	0	0	70	0	
標津 (-)	4/20	0	-	-	0	0	0	0	
		5	-	-	0	0	0	0	
		10	-	-	0	0	10	0	
		15	-	-	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月中～下旬の日本海南部・北部、石狩湾、網走北部・中部・南部、サロマ湖、能取湖および根室海峡海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、主にデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC7)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年4月20日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (2.5)	4/19	0	5.4	29.99	0	0	0	0
		5	2.5	31.99	0	0	0	0
		10	2.1	32.15	0	0	0	0
		12	2.0	32.20	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンデルリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンデルリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェンガ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月の太平洋東部(厚岸)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC6)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年4月18日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 -	4/13	0	3.7	31.36	0	0	0	0
		5	3.1	31.73	0	0	0	0
		10	2.2	32.14	0	0	10	0
		13	2.0	32.19	0	0	0	0
猿払 -	4/10	0	5.2	32.93	0	0	170	0
		10	5.2	33.01	0	0	10	0
		15	5.2	33.03	0	0	60	0
		20	5.2	33.06	0	0	110	0
能取湖 (5.2)	4/10	0	4.2	31.57	0	0	10	0
		10	3.7	32.23	0	0	20	0
頓別 -	4/13	0	5.4	33.08	0	0	120	0
		10	5.4	33.14	0	0	140	0
		20	5.4	33.19	0	0	140	0
		30	5.4	33.40	0	0	90	0
常呂 (6.0)	4/17	0	5.4	33.08	0	0	0	0
		10	5.4	33.14	0	0	50	0
		20	5.4	33.19	0	0	40	0
		30	5.4	33.40	0	10	20	0
サロマ湖 (6.5)	4/17	0	4.1	31.40	0	0	50	0
		3	4.1	31.38	0	0	10	0
		6	4.3	31.60	0	0	10	0
		9	4.5	31.78	0	0	10	0
		12	4.1	32.03	0	0	10	0
		15	3.8	32.19	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス
 Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)
 Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンティブラ
 Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント
 麻痺性貝毒プランクトンAtは
 出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータなどが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC5)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年3月28日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (12.0)	3/26	0	5.3	32.91	0	0	10	0	
		5	5.2	33.27	0	0	70	0	
		10	5.2	33.56	0	0	90	0	
		13	5.0	33.71	0	10	20	0	
標津 -	3/22	0	-	-	0	0	0	0	
		5	-	-	0	0	0	0	
		10	-	-	0	0	0	0	
		15	-	-	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

3月の日本海北部(増毛)および根室海峡(標津)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、増毛でデイノフィシス・アキュミナータとフォルティが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC4)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年3月7日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (2.0)	3/5	0	-0.3	31.83	0	0	0	0	
		5	-0.2	31.94	0	0	30	20	
		10	-0.1	32.23	0	0	10	0	
		13	-0.1	32.36	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンデルリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affineアレキサンデルリウム・アフィネ(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェンガ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント
 3月の太平洋東部(厚岸)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータなどが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC3)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年3月2日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (13.0)	2/27	0	5.3	32.75	0	0	0	0	
		5	5.1	34.04	0	0	0	0	
		10	5.1	34.05	0	0	0	0	
		13	5.0	34.05	0	0	0	0	
標津 -	2/26	0	-	-	0	0	0	0	
		5	-	-	0	0	0	0	
		10	-	-	0	0	0	0	
		15	-	-	0	0	20	0	

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンダリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンダリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

2月の日本海北部(増毛)および根室海峡(標津)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、標津でデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YG2)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年2月6日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (2.0)	2/1	0	-0.6	32.05	0	0	70	0
		5	-0.5	32.12	0	0	10	0
		10	-0.5	32.33	0	0	20	0
		13	0.3	32.41	0	0	10	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンデルリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンデルリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェンガ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

2月の太平洋東部(厚岸)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC1)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2018年1月19日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (3.0)	1/12	0	0.7	32.11	0	0	50	0
		5	1.0	32.31	0	0	130	0
		10	1.3	32.47	0	0	30	0
		13	1.5	32.48	0	0	80	0
標津 (8.0)	1/17	0	1.7	32.14	0	0	20	0
		5	1.7	32.15	0	0	80	0
		10	1.7	32.17	0	0	60	0
		15	1.7	32.18	0	0	60	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトネオオラクス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

1月の太平洋東部(厚岸)および根室海峡(標津)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)